

http://www.minamih.net/



13・11・23(土)
南NEWS NO60

文化大Gのプレハブリニューアルー2

11月15日の夜、南OB11期生の浜田円君(南の小学生時代はGK 現在6年生と4年生のシーマ・リンク君の叔父さん)の会社のトラックを借りて、平山コーチとその社員の皆さん10人が新しいプレハブを運び、古く壊れかけたプレハブと取り替え、備品をきちんと入れ替えてくださったのです。

本当に有り難いです。南の優しさ・連帯の歴史をしみじみ感じられて嬉しさの極みです。

みんなで感謝の気持ちを忘れず、先輩やコーチのみなさんの温かい気持ちに応える熱い気持ちをもって、練習に励み、試合に臨んでくれたらと願います。

b y 南のアンパンマン

市民体育大会4年 11月3日 別所小

○南八王子2-0なかのSC-S 前半1-0) 得点 大澤君 小松君

○めあて 相手の重心を観ること ファーストタッチを意識すること

先月から続けている相手の重心を見ること、そして今日はファーストタッチを意識することを目当てに試合に臨みました。

まず古積君がナイスタッチから右サイドを駆け上がり、小松君につないでチャンスを作ります。スローイングを受けた古積君が小松君へ、そしてもう一度受けた古積君が右から絶好のクロスを入れますが得点になりません。坂本君がドリブルでかわしたプレーからコーナーキックのチャンス、古積君がゴール前フリーでヘッドしますが、ゴールを外します。

なかなか点が入らない中、ゴール前混戦から出てきたボールに素早く反応した大澤君がシュートを決めてくれました。

関谷君が積極的に仕掛け相手パスをカットしてドリブルで走りだすプレーや、豊嶋君が中央でボールを持った瞬間に坂本君が走り、そこにスルーパスを出したプレーなどは、思いがけないプレーだったのでベンチで観ていてハッとするとほど楽しかったです。

皆で前がかりに攻めるため、その後ろに走られ大ピンチにもなります。そこは大久保君、豊嶋君が快足を飛ばして戻りクリアしてくれました。

シュートを撃たれてもキーパの高田君が危なげなく防ぎます。ゴール前をパンチングで防いだプレーにも高田君の好調さが表れていました。

前半を1-0で折り返すと、後半組は、やはり意気込んでいます。もっと得点してやろうという気持ち満々でグラウンドに出ます。

開始早々から井上君が前でボールを追いかけカットし、隅田君は上のボールに頭を出し、神戸君は体を回転させて振りの速いシュートを撃ちます。

その後も井上君、神戸君が前からカットしてシュートを撃ちます、少し落ち着いて相手の重心を見ることを思い出してくれればきっと得点を決めてくれたと思います。コーナーキックを豊嶋君がヘディングして、浮いたこぼれ球に隅田君が足を出したシュートは惜しくもゴールを外れました。

後半の得点は、こぼれ球に素早く飛び込んだ小松君がナイスタッチから中央をキーパーと1対1までドリブルで抜いていき見事に決めました。後半も前がかりな中、よくピンチを防いでくれたのは米倉君と松村君でした。米倉君は1対1を果敢にチャレンジしてカットし、松村君は怪我のブランクはあるものの、ボール



タッチの柔らかさでカバーし、そして GK 好調高田君がしっかりと後ろを守ってくれました。

相手の重心を見ることは少し忘れてしまったようでしたが、ファーストタッチでかわす意識を持っていたと思います。

b y 伊藤コーチ



5年生市民体育大会 11月17日 愛宕小

○南八王子0-3狭間 前半0-2

○めあて: 2つの声(コーチングと仲間を励ます声)、

攻撃はワイドに守備はコンパクトに、渡り廊下を使った攻撃。

秋も深まり朝が寒く感じられる愛宕小で市民体育大会トーナメント戦が行われました。

この日もプレーヤーズファースト! 試合中ベンチからコーチの指示は無しで臨みました。いつもどおり立ち上がりは悪く無かったのですが、同一視野の確保、ルックアラウンドができず、相手11番をフリーにしてシュートされ前半に2失点しました。後半に入り11番にクロスを入れられると今度は逆サイドをフリーにしてしまいゴールされました。

その後、選手達が落ち着き始め一進一退の攻防となりましたが得点できず試合終了。今年の市民体育大会は終了しました。

このところ課題であった後半終了間際のバイタルエリアの間延びは選手達が良く意識し走り切っていた為、そこを突かれての失点は最後までありませんでした。

攻撃面ではやはり個の力に頼りすぎ、カバー、フォローが出来ない、ドリブルも当ててしまう為攻撃が単調になってしまいました。めあての2つの声は失点を重ねると聞こえなくなります。負けている時こそ声を出そう! 守備のコンパクトは理解が出来ている選手が多くなりました。ボールにつられる事なくしっかり周りを観て対応すれば失点は少なくなると思います。攻撃の広がり、渡り廊下については、理解はあるものの具体的な動き方が判らず迷ったり、適当に処理している場面も多く見受けられます。練習の課題にしよう! 周りを観ることの大切さは理解できているはず。日々の練習でも取り組みましょう!!

この日は残念な結果となりましたが、反対サイドからの応援選手達や保護者のみなさんから大きな、そして多くの励ましの声を貰いました。選手達はもちろんベンチにもしっかり届きました。来年の全日本少年サッカー選手権に向け、コーチ陣も子ども達とともに日々の練習をしっかりとやるべく気の引き締まる思いです。選手、代表・コーチ、保護者、みんなで戦う南を実感することができました! 本当にありがとうございました!!

b y 清水コーチ

3位以内に入る学年はありませんでしたが、個々の力・チーム力は向上しています。これからの期待です。

b y 南のアンパンマン